

草創・組織化初期

(1978~1982年度)

★体育での授業がきっかけで厚木小学校の先生のもとにチーム誕生。その後の子供達の卒業や先生の転勤による危機を父母のサポートで乗り切りました。スポーツ少年団としての自立的運営が始まり、指導体制などを模索する時期でした。

年度	月	主な活動・トピックス等
1978 (昭和53)	4月	厚木小学校の渡辺浩先生のもとにサッカー好きの生徒が集まり、B J (ブラックジャガー) として活動開始 ★この当時の5年生が3年生の頃に体育でのラインサッカーがきっかけとなり、翌年の昭和52年に渡辺先生が4年1組でチームを結成し「フォーワン」として活動を始めた。その後、参加希望者が増加したこともあり、またスポーツ少年団として正式に発足させるため、昭和53年3月23日の第1回総会でB Jが誕生した。名付け親は、幸真司君である。★
	5月	社会人の石島威コーチを迎える
	8月	初めてのユニフォーム (黄色) ができる
	10月	県央少年サッカー大会で早園を4対1で破り、創部以降の公式戦で初勝利
	3月	初めての文集作成
		●第11回FIFAワールドカップ・アルゼンチン大会開催。攻撃サッカーでアルゼンチンが初優勝。紙吹雪が有名に。
1979 (昭和54)	5月	厚木市少年サッカー大会でG Pとの決勝戦の結果、1対2で準優勝となり、創部以来初めてのトロフィーを手に入
	6月	全日本少年サッカー大会県予選でブロック準決勝に進出したがPK合戦で惜敗
	8月	初の夏合宿を山中湖「からまつ荘」で4泊5日の日程で行う
	1月	県選手権大会ブロック予選の3回戦 (対本町A) で惜敗 ベスト8入りを日標にナイター練習なども重ねて来たが、6年生最後の大きな試合での念願を果たせず、くやし涙
	2月	1月の試合での惜敗後、子供達が「もう一度ワタセン (渡辺先生) を泣かせてやろう。びっくりさせよう。」とひそかに計画をたて、文集づくりを始める。途中から親達も加わり、立派な文集が出来上がり、3月の総会の場で先生にプレゼント
1980 (昭和55)	4月	大勢の主カメンバーの卒業や渡辺先生の転勤により、新年度の寂しいスタート
	7月	小宮会長や榎本氏の尽力で、横浜から女性の川久保博美コーチを迎え練習に励む
	8月	渡辺先生のチームをホームスティで迎えて練習試合

1 1月 厚木市スポーツ少年団スポーツテストに多数参加

●第1回トヨタカップ開催（1981年2月）

- 1981（昭和56）**
- 5月 前年度の分裂解散の危機を乗り越え、臨時総会の場で後援会を設立して父母等による支援強化を図ることが決まる
 - 5月 厚木市サッカーリーグ戦のBリーグで優勝する
 - 8月 箱根仙石原で2泊3日の夏合宿を行う
 - 9月 後援会が発足

●「キャプテン翼」の週刊少年ジャンプに連載（1981～1988年）やアニメ化などもあり日本のサッカー人気に大いに寄与。

- 1982（昭和57）**
- 4月 東海大学体育学部学生の長谷川コーチを迎える
 - 8月 富士山麓の御殿場須走「ホテル米山館」で2泊3日の夏合宿を行う
初日の工場見学、須走小での練習や試合、浅間神社での夜の肝試し、高く古材を積みあげてのキャンプファイヤーなど、ジャガーズ村の各グループはそれぞれ楽しい思い出を残した
 - 8月 川久保コーチが退任し9月からは「ヨコハマトライスター」の指導をすることとなる
 - 1月 もちつき大会を行う

●第12回FIFAワールドカップ・スペイン大会開催。イタリアが優勝する。サッカー黄金時代への幕開けとなる非常に白熱した大会。参加24カ国、10年に一人の天才と言われるマラドーナの姿も。